ALL THAT FIGURE

Part.1



It's show time....

イラスト・菊池 通隆



LUM — NOBUYOSHI OCHI



似てねえよチクショウ、オリジナル・キャラかと思っちまったぜまったく。ヤレ、ヤレ。
とりあえず光の伝説の上条光ですが、原作はまったく無視してアニメ版でいきました。読者の中で原作を欠かさず発売日に読んでいる人なんていないでしょ？ 2、3人いるかも知れないけど。わしも1回しか読んだことないし。それにアニメキャラになると線が少なくなってフィギュアにしやすいのでそーしました。で最初はセーラー服にしようと思ったのですが、はっきり言ってセーラー服ってむずかしいし（越智さんがA子作って苦労してたの知ってたし）誰だかわかんなくなりそうだったので新体操のユニフォームにしたのだけれどこれが間違い、かえって面倒だったりしたのであった。ポニーテールはあるし、もみあげもあるしレオタードはマスキングしなくちゃならなかったしこん棒も造らなくちゃなんなかったしャレヤレ。で、ポーズはアイキャッチの中の1点（手具が5点あるので各各を使ったアイキャッチがちゃんと違ってあるの、やるぅ）を参考にしてあります。言わなきゃ気づかないと思うけどレオタードの柄は白から青へ色分けされてるのだけど面倒なのでグラデーションにしてしまいました。
ヤレヤレ、こんなの堂々と本に載っけたくないですね、マジで。





Dancin' with vibrations.



HIKARU KAMIJYO — HIROYUKI ITO

1/6スケールフルスクラッチ■製作 伊藤宏之■©麻生いずみ・集英社・タツノコプロ

Wrapped in the sky.

なぜ、森沢優を作ったんでしょうか。
ぼく自身、クリィミーマミには、思いいれもなにもないのです。ただ、ＴＶ版の一本を、のぞいて。あれは、二月にひっこしたばかりの、部屋で、ビデオを見ようとしたとき、トントンと、ドアがノックされ友人M出現。M「お！おまえ、なに見るんや？」私「とってもらっていたビデオの確認」M「だからなに見るんや？」私「クリィミーマミ」M「……絶句。」数分後、二人でビデオを見ていた。8、14、20、31、37、41話（これらのタイトルと作画スタジオがわかったらあなたはマミファン。）と進むうちに、ついに、名作（とぼくは思っている。）46話を見たのです。おもろい！　脚本はモモの焼きなおしだが、演出がいい。この回のマミは、どの回よりも実在感がある。優ちゃんもかわいい。
優の言った「さよなら、マミの貴宝さん…」をきいて、胸をジーンとさせながら、わたしゃ思ったね。「優ちゃん、作ろ……。」てな訳で優ちゃんができました。しかし、今回色を塗ってもらった、やすら氏いわく「似ていないね。」私「ハイ似てまへんどうもスンマヘン……」この場をかりて、いろいろ協力してくれた三宅氏ありがとう。BGMは貴子の「美人物語」でした。





½スケールフルスクラッチ■製作　ホーメ■©スタジオぴえろ・NTV





YŪ MORISAWA — BOME



フカヤ1/6スケールキット■製作／ラケット後藤■©スタジオぴえろ・NTV



MAI KAZUKI — RACKET

Slowly times bending, you dreams.

「舞たんなのら～」などという声もいまでは遠く、本放送当時にビデオを持っていなかったことを悔やみながら、マジカルセンチュリーを眺めつつ、再放送の早く始まることを祈る今日このごろです。

この舞ちゃんは昭和61年の10月号に載ったものなのですが、トボを一部手なおししてあります。ひんしゅくを買ったヒゲのつけ根部分などをきれいにしてあります。

この記事でひとつ気付いたのが写真のうつりかたというものについてです。本物と写真では、かなり見え方が異なります。見ためにかなり派手なシャドウであっても写真ではよく見えるということがあります。逆に言えば本物であまりに繊細なグラデーションでは写真ではつぶれてはっきりしないということを覚悟しなくてはなりません。また一般に写真では通常よりかなり強烈な照明を用いるので特にひきのばして見るときには表面の荒さがきわだってしまいます。恐ろしいことだ。そのため、雑誌に掲載するためのものは一般のディスプレイモデルと異なった作り方をする必要があります。これを学んだことは私にとって大きな収穫でした。



NNTタイプの好きな所は、健康的な色香が有る／ 歌っている時の腰を振る所が良い／んでもって作画もこの時のエミの腰が一番大きい／ 当然歌が良い（ヒットしなかったけど）／ そして、このタイプのエミをディフォルメ第2弾で造ったのだが、私の感じた色香等ディフォルメで表現するのに苦労した。改造で済むかなァー、と思ってたら全部新造になってしまった。まあ苦労した分、表現出来たと思ってる。今後は苦労するぞー／ ヒッヒッヒッ。次のディフォルメはKHSタイプだが別の作品も有り何もやってない。さてどうなりますやら。





Little cute sweet girl.

何回見てもエミは良い。見てない人は不幸だ／ 見て良いと思わなかった人は個人の趣味の問題と思うのでこれ以上は言わない。エミシリーズの第一作目であるOPタイプエミ。なぜOPタイプか？ 製作時、本編の作画はコロコロ変わるであろうし、OPなら少なくても2クールは変わらないであろうし、OPからファンになった以上、造らねばなるまい。てな事なんですね。で今のOPタイプのキットは、改修版なのだが完成品は、前のタイプしかないのである。新作を優先させるのと、自分に対する、反省材料とする事にしているからである。

フカヤ1/6スケールキット■製作 K・PIERO■©スタジオぴえろ・NTV


EPY▷6
MAGICAL EMI — K·PIERO



え一海洋堂の1/6マジカルエミちゃんなのでありますが、出来の良さの割には随分と手間かかってしまいました。（Kさん、越智さん、その節はど一もお世話かけました。）

製作については海洋堂フィギュア特有の？表面処理の粗さをえペーパーがけでならしてやれば、他にムツカシイ所もなく、ステージ衣装のエミちゃんが出来上がるワケですがセル・イラストなど見るとスカートは黄色の透明となっていて、結局ここで頭を痛めることとなりました。透明プラ板やビニーなどの使用は工作が面倒で、結局プラキャストETの使用に落ち付きました。しかしこのETというのがクセ者で、水に近い透明になり着色可能と言うのは良いけれど、硬化にやたらと遅く、薄い物などカタログ値の倍の時間は見ないとすぐ変形してしまいます。しかも流動性がハチミツ並みに悪く、必ず1コや2コ変な所に気泡が溜ってしまいます。透明なのでパテでおいそれと埋めることも出来ないのでまた新たに作り直しとなります。結局4コ目にしてようやく見られるような物を抜くことが出来ました。ここらへんはまだ素材的に改良する所があるようですね。

The end of dreams





海洋堂1/6スケールキット■製作／佐々木俊博■©スタジオぴえろ・NTV

MAGICAL EMI — TOSHIHIRO SASAKI

½スケールのフルスクラッチです。響子さんにしては若造りになってしまいました。「成人の女性の気品」と言う点も表現しきれなかったと思います。

私はフィギュアを作る時、キャラクターの内面的な性格を、製作のファクターに取り入れるように心掛けるようにしています。

気に入ったイラストをモチーフにする時でも、一作中に「テーマ」みたいな物を置いて、それを中心にポーズを決めて行くのです。

時には、モチーフのイラストよりも、テーマ性を先行させる事も有ります。この響子さんは、「優しさ」としました。最初は、一刻館の庭そうじをしている所を作るつもりでしたが、製作中にイメージが広がって、人を送り出す時の響子さんの「やさしさ」みたいな物をポーズに入れて仕上げてみました。その点では成功していると思っています。どうも私は大人ぽく作ると冷たい感じに見えてしょうがなくて、(ただの偏見ですね)こう言う作風になってしまうんですね。だから子供ぽくなっちゃうんでしょうねきっと。でも女性キャラはやっぱり笑い顔が一番だと思うんですけどいかがなものでしょう?



Many kind of smile.



KYOKO OTONASHI — NOBUYOSHI OCHI

1/6スケールフルスクラッチ■製作／越智信善■©高橋留美子・小学館

All that joke...?



DEFORMED FIGURE

TETSURO AKIYAMA

マスコット新作がナント6点／　10日で6点とゆーのはケッコウキツかったような気がするけど現時点ではもう納品しちゃったあとだからどーでもいーや。

サテ、まずラム。えーとこれは2年位前に作ったやつのリメイクだね。前に作ったやつは企画用だったんで日の目はみてないけど当時としてはすっげー良いできだった。と思ったらやっぱり気になるところとかあったんでポーズ替えをした際、顔とかいじってある。ナント手にムキ球もたせてあるんだけどナンカこれは〝コロンビア映画のタイトルをパロってくれ〟といわれたんでやったんだ。

クラマはうる星の中でもいっと一好きなキャラに入っているんで作ったんだね。よく出来たと思う。

ファンドラは1/12サイズの方で、おもいっきり失敗してるから気をつけて作ったんだけどどうかな。けっこうカワイくできてると思う（さっきから手前味噌ばっかし）。あ、ソウだ。ファンドラはビデオ観てないんだよね。ウーン、だから1/12の出来が異常に悪いのかもしれん。

響子さん。ちょっち顔が長い。どーもクセらしくて顔が長くなってしまうんだよね何を作っても。んで最近はそこら辺気をつけてるんだけど急いで作ったもんだからまたやってしまった。ピヨピヨ

イクサー1、コイツはホントは1/12で作りたかった。んだけどツクダからデキのいいプラモ出ちゃうし。その作例はいち早く越智氏がやってしまうし。そーゆーウラもあってか作ってるときにかなり力が入ってしまった。どーでもいーけどイクサー1の耳ってキモチ悪いと思いませんか？

サテ、D。自分で作ってて笑ってしまった。私はマヌケです。

あとのやつは過去の作品。で、その中で幻夢戦記レダの朝霧陽子とヨニ、カエル兵士ウォーリアのマスコ4点セット（陽子は2種類ポーズ違い）4色成形!! がEGGカンパニーから発売中です。その他にもイロイロ売ってるので買ってやって下さい。



□特別プレゼントのお知らせ／

今回のマスコットを各1点づつ、抽選でプレゼントしますのでどしどし応募してね。

EGG company
〒227 横浜市緑区美しヶ丘1 2-902
秋山方


As a fire burning



○月×日　はれ

1ねん　2くみ　ちぐさ　たつみ

きょうはしごとです。きのうのひるからずっとねないでしごとをしているのでとてもねむいです。

ごはんもたべていないのでとてもおなかがへっています。

でもはやくしごとをおわらせないとほびーじゃぱんのへんしゅーぶのおにいさんがとてもこわいかおをするのでやだ。

ぼくはいまリヨンでんせつフレアというアニメにでてきたネリスという人をつくっています。

このアニメはてれびではやっていません。

おりじなるびでおといっててんきやさんでうっている。

ぼくもかってきてみましたがおはなしがよくわからない。

かいじゅーやうちゅーせんやはだかのおねーさんがでてきてなにかやっていました。

ぼくはやっぱりにこにこぷんがいい。

はに丸はちょっとめじゃーになりすぎたよーなきがします。

しめきりまであと1じかんしかありません。

いつもこーなのでもうこんなしごとはやめようとおもうのですが、そーするとごはんがたべられなくなるのでこまる。

はやくおわらせてねむりたいです。

おわり。

NERIS —— CHIGUSA TATSUMI

MARLINE —— H.F.M AKIRA SASAKI

In the early morning





今回，マーリンを作りましたがいかがだったでしょうか。最近，通常通りのフィギュア（つまり，設定のもの）を作るのに飽きてきたので，水着姿とか下着姿とかぶっ飛んだ発想もしたんですが，Ⓚ氏に“ざけんなよ”（実際は一番喜びそうだけど）と言われそうなので，結局設定通りに作りました。

しかし，異端な発想はコケたものの，ただでは起きない私。服を布で作ろうと思い裸のまま複製したんですが，型紙を取っている時間がなくファンドで作るはめになった訳です。せっかく，中身に時間をかけて作ったのに残念だった（Ⓚそんな所に時間をかけるなっつーの）。

今回の製作ポイントは目でしょう。いのまたキャラの象徴とも言えるマーリンの目。もう少しタレ目風にした方が良かったかなと思いましたが，今回位が好みなんですよ。

製作する時，基準にしたのはアニメではなく，イラストと設定資料を基にしているのでアニメの顔に似ていません（えっイラストにも似てねえだぁ。よけいなおせわだよ）。

でも，マーリンの水着姿も見て見たいなぁと思う私でした（Ⓚ氏も同じ意見だろう）。

H.F.M（ひんしゅくフィギュアモデラー）佐々木明でした（あーあ，やっと穴うめ文章が終ったよ）。なぜ私がＨＦＭと呼ばれるかってぇ。それは，私のＨＪで未発表の作品を見ればわかるよ。裏フィギュアモデラーと呼ばれる日も近い。

マーリン　1/6フルスクラッチ■製作　佐々木明■©あいとる・カナメプロ

えー、新作です。アニメ誌を見ていたときにアーナスが堤防の上をかけてゆくシーンのカットがあってそれみてコレダ！　ということになったんだよね。で、サッソクビデオを観たわけだが、これがまたイヨーに悲しい。なんとゆうか、観てて「この先、こうなったら悲惨だな～」と思うと、そのとおりに話が展開してくんだよねぇ、イヤまいった。

このアーナスも悲惨だし、アーナスの恋人も悲惨だ、が、主人公もこれまた悲惨なことになるのだが、やはり私が観ていて何といってもコレモンで悲惨なのは、主人公の恋人。もうすっげーひさん。まったく救いナシ。よくもよくもあんな悲劇を作ったもんだと思う程。日曜のヨル7:30フジテレビの不幸物語シリーズなんかよりもっと悲惨。

私は涙なくしてウインダリアは観れないとみたね。

しかしこの作品は非常に魅力的な世界なのでいずれ機会があれば挑戦したいと思っているわけだけどね。まあ、吸血鬼ハンターDといい、ウインダリアといい、ビデオアニメの中にも良い（と私が思う）物がポツポツあったりしてけっこう先が楽しみだよん。

In the shinny day, old time・・・

アーナス　1/12フルスクラッチ■製作　秋山徹郎■©あい・びる・カナメプロ





AHNATH —— TETSURO AKIYAMA



僕は、文章を書くのは苦手な為、コメントと云われても何を書けば良いのかもわからず、又、まともに思った事を文章にも出来ません。
ただ一つ言える事は、フィギュアを作る時に必要な物は、技術うんぬんよりも、そのキャラクターが好きかどうかと云う事で有り、どうしても完成させてやると云う意気込みで有ると思います（どうせプロモデラーではないのですから楽しければ良いと思いますよ）。
又、技術なんて物はその内おいおい身に付いて来る物だと思いますから（下手な奴がこんな事を言ってもどうせ信じてもらえないでしょうが……）。
つまり（どこがつまりじゃ!!）マシンロボのレイナちゃんはかーいい!!（いかん!!完全にビョーキや…）





1/12フルスクラッチ■製作・福田薫■©葦プロ・ブレックス

Something blue, something red

それは、ほんの軽いジョークから始まった。フィギュアの別冊が出ると聞いたワタシは、「バキュームフォームでポリキャップ可動するでかいフィギュアなんてあったら面白いだろうネ。そうレイナなんかピッタリかも」などと言ってしまった為、やるハメになった。

メカモデラーがメカの手法で作るフィギュアとゆーのがテーマだったので、あくまで作り方はモビルスーツと同じでなくてはならない。そこでまず私は各資料類「アニメ誌やアイドルの写真集」を収集し、3面図を引いてプロポーションと可動方法を検討した。

次に各パーツごとにバルサ原型を削り出し、針金でつないで各部をチェックする。バキューム成形なので、原形のフォルムがそのまま仕上がりに出るうえ、プラ板の厚みも考慮しなければならない。結局手足はそのままレザーソーで左右分割してバキュームフォームし、頭と胴はポリパテをコーティングしつつ微調整していった。慣れない事で大変だ。

各部パーツがほぼ仕上がった所で仮組みした後、関節部の工作に入る。今回は1／100のガンダムMkIIのポリキャップを流用した。ひざとひじは2重関節なので、ガンダムのそれをポリパテで丸く整形して組み込んでいる。肩と腰は球体関節なので、球の中心にギミックを仕込んでやらないと動いた時にスキマができたり、つっかえたりするので注意。腰の球体にピンポン球が流用できたのは大変ラッキーであった。ウエストと首はマルチ可動させる為にガルバルディの足首部を組み込んだ。手はエポパテを使って手袋風に作り、米ハンダで接続している。

頭部の処理にはえらい時間を喰った。特に顔はもうどれほど盛り削りしたか分らない。表情もアクションフィギュアである為に、特に固定できず、いかにも人形っぽいボーっとした顔になってしまった。本当はゴムで外皮を作って、目と口を可動させたかったのだけれど、時間は無いし出来てもちとみっともなさそうなので断念。せめて表情ごとに別の顔を作れば良かったが、別冊ガンダムがヤバイのでパスした。それにしても口元って大変ネ。

エンディングの様にヘルメットを取ったレイナをやりたかったので、メットをバキュームで作り、髪をドールヘアーのブロンドでやってみた。しかしこれがまたてっぺんの生えぎわの処理や、髪型のセットのし方が良く分からず。しかもせっかく植毛した前髪を寝不足からバッサリやってしまい、時間も無いのでメット取りはヤメ。Ⓚさんゴメンネ。

塗装は、レザースーツのイメージで半光沢とし、メットのみピカピカにしてある。大きな可動人形なので、いわゆるシェードは入れないでおいた。肌の色や目の塗り方っておっかしーのネンのネン。

以上の様にして一応の完成はみたのだが、予定よりずっと時間を喰った為にやり残した事も多く、そのうちまたやってみたいなと思っている。今回は可動が一つのテーマだった訳だけど、特にイメージが決まっている場合はやはり固定で追求していった方が良い様ですね。可動だとやはり中途半端な物にしかなりませんからね。まあ遊べていいんですが。

今ちょっと考えているのは、原形を型取りしてその型の内部にレジテックスゴムの皮を作り、これに可動の骨を入れて型を閉じ、ゴムでつぎ目を埋めた所で発泡ウレタンか何かを流して肉とし、一体成形の可動人形ができんかなーとゆーもんです。バービーさんは仲々に動く人形なので、あんなふうにできるならダーティペアみたく露出部の多いのも動かせるんですがねー。近々実験して、できそーならまた何かやってみよーと思います。MSのみならず、フィギュアにも可動を追求するアゲちゃんでした。ドモー。



1/4フルスクラッチ■製作／あげたゆきお





RUN — SERIKA

1/8フルスクラッチ■製作／せりか■©大宮直伎・講談社

今回のワイルド♡ランの製作にあたって、な一んか書くと、めっちゃかたそうなんでかんたんに書きます。なんでワイルド♡ランを作ったかとゆうと、ただたんにか一いいかったから。「わぁ。ミーハーやミーハーや」でもこのワイルド♡ランのランちゃんもそゆたんにかーいらしいとか、気にいったとかで作ーってしまいました。たいがい模型を作るときも、こんな感じで好きなものを作る。気にいったものを作るでしょう。それと同じですよ。でもこのキャラクターにかんしては前から作ってみたかった。

少年マガジンにのっているころから、作ってみたいなぁと思っていたところで越智先生から（おまえ、別冊でフィギュア作くれへんか？」といわれてしまい、そく「わい、ジャガーのランちゃん作るで」といってやったのだ「ざぁまあみろ。まいたか！」でもいざ作るとなるとこれがさーたいへん。時間はないは、とちゅうでこわすは、バイクでこけるは、（ちなみにバイクはガス食い単車の400です）でもランちゃんを完成させるため、めげずにがんばったのです。はい！　ランちゃんみたいなマンガのキャラはひかくてき好きですしすこしラムにもにているから。それで大好きなのです。でもランちゃんとラムをくらべると。やぁめた。あとで越智さんにおこられそうで。最後にランちゃんの作りかたは柱の木をけずって、「うそ。うそファンドで作るんですよ。」みなさんもこの本を読んで作ってください。とにがんばって！

POWERED by せりか

Voice in the wilderness







3. その他特殊撮影のひみつ

と言っても今回お見せできるのはCGのみ。ＣＧはフィギュアの種類を選びますが、物によっては面白い効果が得られます。ただし、これをやろうと思うと、金がかかる！　デジタイズ可能なコンピューター１台（Ｘ１シリーズ、MSX 2、FM 77AV、MAC等）に、デジタイズ用のオプションを付け、さらにビデオカメラが一台（さらに、ビデオレコーダーも一台あれば望ましい）。金と手間を考えると、それほどたいした効果も得られないので、趣味でやる人以外はやめた方がいいかも。









写真⑰⑱⑲⑳㉑イクサー１、ボイド、Ｄなど、割とおどろおどろしたフィギュアにはこうした効果は似合います。いろいろと手法を変えて作ってみました。どうですか？



LUM——NOBUYOSHI OCHI







It's NEW!

フルスクラッチ■制作／越智信善■©高橋留美子・小学館

　やっちゃったーっ／フルスクラッチのラムさんだーっ／　おまけに今回はバニーガールだもんね。人に何と言われようと、好きなキャラ作っていいと言われたら私には、「ラムさん」しか無いっ／　もう一つ、付け加えるなら、バニーガール姿も大好きである!!。

　この2大シチュエーションが有ってこそ、私が別冊でフィギュアを作る意義が有るのであ〜る!!。

　と言う訳で、作ってしまいました。

　自分でも「ハ〇の1つ覚え」と思うのですが、一番思い入れ込められるキャラなんですよ。私にとって「ラムさん」は。好きなキャラだから、より完璧な作品を作ろうとするんですけど、後から色々欠点が見えて来るんですよね。

　それで、自分自身納得できなくて、又「完璧」を目指して作るんです。そう言う"こだわり"って、物を作る者には大事な事じゃないかなと思ったりする訳です。「欠点」が次回作へのエネルギーになる所って、有るんですよね。

　それは決して「ワンパターン」とは、違う物でしょう？。どうすれば自分で納得できるのかも判らないから作って行けると思うのです。たぶん……一生かかってもムリでしょうね。

　逆に一回で納得できる作品になっちゃったら、フィギュアのスクラッチほど大変な物は無いんじゃないかなぁ。



ツクダホビー1/12スケールキット改造■製作・越智信善■Ⓒ久保書店・AIC

ICZER-ONE
——BY NOBUYOSI OCHI

Softly wakened in her





KYOKO OTONASHI BY NOBUYOSHI OCHI

ツクダホビー1/4スケールキット改造■製作・越智信善■©高橋留美子/小学館・キティ・フジテレビ

warm arms







KYOKO OTONASHI

BY NOBUYOSHI OCHI

2度目の1／4フィギュアです。今度は贅沢にも、森山ゆうじ氏に書いて頂いたイラストコスチュームに改造してみたのでした。（Ⓚ注・元となったイラストを御覧になりたい方は、ホビージャパン誌9月号をヨロシク）

スケールも1／4となりますと、プロポーションやディテールもごまかせないので気をつけてみました。ノースリーブのワンピースと言うコーディネイトは、胸元と足の仕上げに重点を置いてみたのですが……（胸が大きすぎたのは、ただ単に私がすけべーだからです）

全体の雰囲気は、夏風に吹かれながらの爽やかな感じを表現したつもりです。

スカートは、ティッシュペーパーにプラキャストを染み込ませて製作したものです。どんな材料もアイディアによって、色々な使い方があるものだと、つくづく思った作品なのであります。できれば、服のシワをもっともっと勉強しなければ、質感も表現できるようにならなければ……

はっはっはっとゆーワケで1／12の響子さんなのですが、いやー今見ると赤面者ですねー。さ程昔の作品でもないのにー。

さて、フィギュアで服を作る場合、一番悩むのはやはりシワの付け方ですが、スケールがスケールも小さくなる程、難しいワケで（大きくてもそれなりに難しいが。）特にテニスウエアなどは細かいシワが多く苦労モノです。結局濃い目の溶きパテによる定石通りの製作法によりましたがここら辺がまだ思案のし所のようです。

スカートも服のシワと同じ位に悩み、ティッシュに溶きパテならぬ溶きファンドにて製作したのですが、乾燥後のペーパーがけの際、かなりケバ立って、仕上げが大変でした。やはりスカートは1／4の越智氏の響子さんのようにティッシュにプラキャストをしみ込ませて作った方がイイようです。

いやしかしこの製作は、ただ製作してるだけでも大変なのに、たびたびの悪友の襲来に頭痛めた、思わず五代君の気持がわかってしまう製作でした。（今この原稿書いている最中もいてうどん食ってたりしてー。）

PROJECT "A" KO —— BY NOBUYOSHI OCHI





Mighty, Misty mornin' touches me

私のスクラッチ・フィギュアでは、初のセーラー服のキャラクターです。

なぜ今までセーラー服を作らなかったか、というと、スカートが作れなかったと言うか、実は作る方法が見付からなかったからなんですね。

プリーツスカートと言うシワの入ったスカートは、けっこうボッテリ見えてしまうので、薄く作るのはシンドイものなんですよ。

また、ポーズにしても、設定書しかなくて、キャラクターの性格が、十分に取り入れられなかったと思います。映画を見たら、とにかく走れば速いわ、巨大なロボットは投げちゃうわ、ミサイルのよ飛んじゃうわ…「うーんかえってフィギュアにしにくいか……」

ストーリーの中では、A子がスーパーパワーを除けば、一番ふつーの女の子だから、あまり派手じゃない方が、かえってよかったかなとも思ったりして……

製作・越智信善■Ⓒ創映新社・APPP・ファイナル一西島

PRINCESS KURAMA

BY TETSURO AKIYAMA

A BLack Lover's invitation

何とゆーか、このクラマ作ってからもう1年たっちまいましたねえ。この1年間、ホントーに色々あったけど何の進歩もない生活を送っている、私、秋山です

まあ、越智氏程ではないにしろ、私もかなり影響うけたりしましたんだよね「うる星やつら」には。ビューティフルドリーマー、良かったねえ… すんごい感動したもんなあ。あれ観たときには うる星4も友人が観てきてよかったって言ってたんだけどまだ観てないやナンカうる星3はとっても絵が良かったわりに内容が全然つまんなかったような気がするし、まいーけどね

さて、うる星の中で1番好きなキャラクターは、面堂な人だけど、女ではこのクラマさんだよーん。弁天も好きだけどさ。(何か弁天も昔作ったことがあったよーな……) あっあとTVしか活動してなかったけどメガネ、いやー彼が1番だった。ゴメン、面堂2番

で、作例はツクダの1/4のクラマの改造でありんす 左手の処理がけっこう色っぽくて気に入ってるんだけど（塗りのコト）まあいいか そーゆーわけで1/4はちょっとデカすぎると思う秋山でした

ツクダホビー1/4スケールキット改造■製作・秋山徹郎

Like a Greek mythical heroine…



えー、85年11月号に載ったものは失敗作です（キッパリ）実は私、このファンドラを境にしてブランクに陥っていたんだけど気づいたかな？（後にこのブランクはレイズナーのエイジの時、最高潮を向かえるのだった）で、今回のこれのように手直しを行ったのである（つっても顔だけだよん）。

髪に対しての顔がデカイ、あと顔がとけてる（モールドかっ！）と、この2点を直したんだけどどうかな？

ま、何にしても昔の作品ちゅーのは恥ずかしいからね、できれば全部、手直ししたかったんだけど、時間かかったし、しょーがないやね。

FANDORA — BY TETSURO AKIYAMA



製作・秋山徹郎■©ヒロメディア／カナメプロ／ダイナミック企画

Dark and dusty doom comes!

D&DORIS —— BY TETSURO AKIYAMA

さてこれは結構最近作ったものだし、気に入っているし、出来の方もナカナカだと思うのだが、やはりいくつか気づいた点があるんでちょっと。まず、ドリスの口がヘン、おさげが不自然、足が長すぎるような気がするとゆーことだな。Dに関してはアニメからの立体物だし、これで十分だと思う（だけどちょっぴり平面顔が気になったりして）。

しかしさっきビデオ観なおして思ったんだけど、ドリスがDと初めて会ったとき、ドリスが「お礼は食事と宿とそれから…」というところあるでしょ。あの位の歳の女の子があんなどこの馬の骨ともわからんよーな男に体を許すというのはすげーおかしいように思うんだけどねえ。みなさんはどう思われたであろうか？

でもまあそれはそれとすればあの作品はすごく良いと思う。ファンタジーがキライって人はだめだと思うけれどそうでない人にはゼヒ観てほしい。





製作・秋山徹郎■Ⓒ菊地秀行・ムービック・EPICソニー

MAI KAZUKI

BY.K.PIERO



Show! Please, Please, look!



舞は怒った顔が、やっぱり良い。ユーミのラス前に、トランプのジョーカーで出てきた時も実に可愛いかった。しかし、フィギュアにするには、問題である。やっぱり笑顔になってしまった。

問題と言えば、ポーズが問題だ/後ろから見ると丸見えなのである。このポーズであのスカートだと当然の事である。完成して他人に言われるまで気付かなかった。私はスケベだが、他人に見せて喜こぶタイプの人間ではないのであまり後ろから見ないで欲しい。

そう言えば問題と言えば、スカートも問題だ。絵では誤魔化しても、立体にすると……私はこの様に造形したが、どうだろう。



フカヤ1/12スケールキット■製作・K.PIERO■ⓒスタジオぴえろ・NTV

From me to you with love message

MINAMI ASAKURA

BY HIROYUKI ITO



サテ。(と、こういう風にカタカナで書くと秋山徹郎氏みたいですね) ガレージキットも落ち着いてきましてまあ最後までずっと見届けたいもんですな。

私もガレージキットの原型として何点か造りましたが、お店に並んだ物を見た時に非常にがっかりするのです。まあ、この浅倉南がそうだとか、ガレージキットすべてがそうだとか言ってる訳じゃなくて一部のものなのですが、成型がちょっとアレなんですよね。これでは一体私はなんの為に丁寧に細かい所を彫刻して表面もとにかくキレイに磨いたのだろうかとクタクタ疲れてしまう訳だ。価格の問題も色々ありますが、原型を造ったからと言って私に文句言われても私は知りませんもの。私が価格を決めてる訳じゃありませんから。でもキットの販売にかかわっている立場でこういった事を書くのも問題あるとは思うのだけれど、やはり言わなくてはならない場合もある。鼻が欠けたキットを売るなんてのはもっての他。はっきり言って不良品ですからね。買ってくれる人をバカにしてるし、原型製作者に対してもそういう態度はまずいです。第一そんな事では皆離れていってしまいますから。自分で自分の首を絞めるようなものですので心しておくように。

いや一話がどんどん危い方へ進んでいくのでヤメタ。忘れて忘れて。



ムサシヤ1/12スケールキット■製作・伊藤宏之■企画製造㈱ヨネザワ■販売㈱ムサシヤ■©あだち充／小学館・東宝・旭通信社



RIO BY TATSUMI CHIGUSA

West wind blows up her hair

さてと、今日はＨＪのフィギュア別冊の発売日だな。模型屋でも覗いてみるか。

しかし、ま、何だ俺はどの本にも顔写真載っけてないし、模型屋にも自己紹介してねェからな。今ここに居る俺様がモデラー千草巽であるとは誰も気付くまい。

大体俺の正体は…おっ早速客が来やがった。フフン、いいねいいね別冊を手に取りやがったぞ。パラパラとめくってやがる。

けどなんだね、人が苦労して作ったモンをパラパラってカンジで見られるとなんか腹たつな。いいけどね。お客だし。

おっ俺のページをしげしげ見てやがる。

こーやってしげしげと見られるのもなんかテレるな。早くページめくれよ。

なんだコノヤロウニヤニヤ笑って。

チクショウ。やっぱり出来がイマイチだったかな。まだ笑ってやがる。こっちにだっていろいろ事情があるんだ。クソ。

コラッ！ 製作記事なんかマジで読んでんじゃねーよコノヤロウ。いつまでも立ち読みなんかしてねーで早く買えよ。あっ本を閉じたな。

コッコラッ！ 元に戻すなよ！ 買えってばコラッ！

ホラッ。早く買えっ！

フォルクスモデル1/8スケールキット■製作・千草 巽■



特別付録

フィギュア スケール対応表

フィギュアをこれから作ろうと思っているが、どのスケールで作ろうかお悩みの方に朗報です。一目で分かる“フィギュア・スケール対照表”。1/4スケールから1/144スケールまで、ほぼフィギュアでよく作られるスケールはすべて表示。男女比、デフォルメとの対比も一目瞭然。

また、お手持ちのフィギュアのスケールを調べる時もこれを使えば簡単。モデルはツクダホビー1/4スケールの響子さんです。



スケール対応表

	身長180cm（男性）	身長160cm（女性）
1/144	1.25	1.11
1/72	2.50	2.22
1/48	3.75	3.33
1/35	5.14	4.57
1/24	7.50	6.67
1/12	15.00	13.30
1/ 8	22.50	20.00
1/ 6	30.00	26.70
1/ 4	45.00	40.00
1/ 1	180.00	160.00

単位(cm)

めいっぱいバランス悪いな―――Ⓚ

ぐそ～！Ⓚめ！てめーのおかげで一見開がムダになっちまったぜ。25P分よこせ～！Ⓢ

気のせいでしょ Ⓟ

今月の編集長・Ⓚ

そーゆーワケです。何故か明治学院大の漫研にいた私は、こんな所にいてこんな仕事をしてる。いーのだろーか。舞ちゃんカワイイ！　クスッ。私はただのミーハーです。

ペコちゃんめもる♡

今から描かれるまりえるです♡

しかも.ΚΚ振りに書くと.似とらん！しかも.横のイラストは見ないで！

今さら何をいっとるのだ Ⓟ

さすがひねくれ者のⓀさんだっ Ⓟ

しかし今回の別冊はベースがなかなか大変だったのであります。公園だの石のカベだの指定が多くて…ラフスケッチは無いわ．Ⓚ氏はねてるわでぐちゃぐちゃ

よくまぁ出ましたのことよ。

……どーじんし

Ⓤ氏は隣で仕事をしているふりをしているが、実はてぽってる。彼はXXなのだ。

うーん。しかし、これでは、ただのどーじんしではないか！本当にこれがHJの別冊のだろうか。ま、いいや私に担当させるのがいけないのだ。しかし、このページの編のページなのだろう。

あまりたから絵も描きます

なんだか、のりがえんにちょっと似てきたみたい。

Ⓞ対談ではエラソーなコトを言っているが、実はフィギアを作ったことのない Ⓟ

でも10月号のリーサは俺がつくったんだ

だせ!!

名前はラム系

でもラム命とゆーわけではないい…

うる星の新作を見たいよ～．ファミコンのソフトのCFでひさびさにラムがTV画面で動くのを見てカンドーしてしまった．でも最終回近くなって力がなくなってきたのはザンネンでしたね

ところで「怒っ」の結局の「怒る園」は．ほとんどクラブ、ヴァリエーションのりではないだ…

今更ながら

ふーん、だ。

私はただ…

■ バイト少年(?)Y

ＨＪのベーシスト。いつの間にかジャパンに住みついてしまった。脇役のモデル造りからイラストまで何でもやらされるが、何ひとつモノになっていないという…くすん。

うひょー　サフェーサーを塗ったはいいが、磨く手段がない　カッターの刃でかんながけをすることを考えたがムダのような気がする。それでもカンナがけをする ・119　あきらめる ・130

惰池さん
ハルるちゃんは
いいですねー
へ、へ、へ
由貴ちゃんも
かあいい…

この…タコ!

そーいえば
僕はフィギュアを
1回も作ったことがなかった
のだった。
なのに なんで この本に描いているかと
ゆーと 声をかけていただいた
惰池さんのおかげ…
ありがとうございます

フィギュアは一応もってるんだけど
時間がなくて 作れないとゆう…
せっかく人からプレゼントして
もらったものまであるのにね…
(すいませーん でも 必ず
作りますから…)

ああ 昔のよーに プラモを作る時間が
ほしいなぁ ガレージキットの買いだしにもいきたい…
もっと遊びたい!! 2万円のスカイダイバーもほしいし
(うーん 何をいってるんだ まったく…)

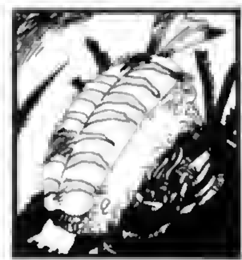
ああっ 1ページも もらって こんな つまらない
ことにつかってしまった どーも すいません。

どーせ にてませんよ!

工藤様 ゲンコー
おくらせてしまって
すいませんでした
これに こりないで下さい…

うーんまた
エミを描いてしまった
やっぱシリーズやってて
8カットしか エミを
かけなかったからかなぁ…
でもなにかっちゅーと
エミってステッキと
シルクハットもってんだ
よなー
あたりまえだが

最近 よく僕は名前の
漢字をまちがえられる
菊地ではなく 菊池 なんだけどなァ…
よろしくおねがいしますよ
制作会社様……



■菊池"あたしのつかわないでよ"通隆

現在はアニメーターと他に、まあいろいろやってます。

できるだけのことはやった 君の目の前の門はゆっくりと開いてゆく。君は歩きはじめる。•143